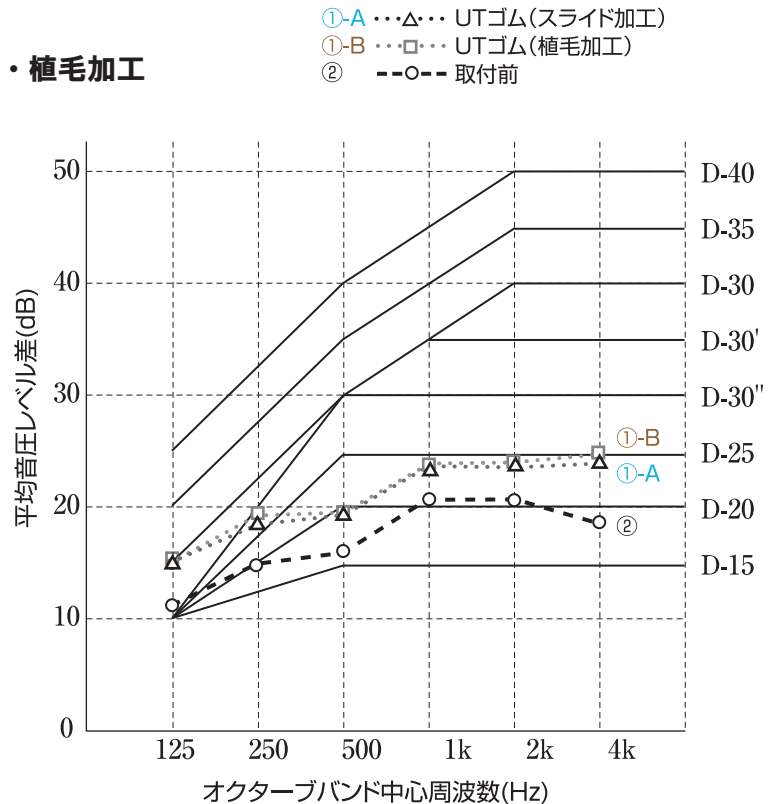


木製開き戸に下框気密装置〈UT〉を取付けた場合と、取付けない場合の比較

■下框気密装置〈UT〉スライド加工・植毛加工



測定方法： 洋室10.9帖に音源をおき、音源室内5点の音圧レベルの平均値とドア前1mの音圧レベルの差をオクターブバンド毎に評価した。(開き戸と床面の間隙は約10mm)

- ①-Aは開き戸の下框に下框気密装置〈UT〉スライド加工を取り付けて、扉を閉めた場合の遮音性能測定値をグラフで示したものです。
- ①-Bは開き戸の下框に下框気密装置〈UT〉植毛加工を取り付けて、扉を閉めた場合の遮音性能測定値をグラフで示したものです。
- ②は開き戸の下框になにも取り付けないで、扉を閉めた場合の遮音性能測定値をグラフで示したものです。

測定場所：つくば市N邸（実家屋）
立会人：(社)日本騒音制御工学会設計技士 大島 敏氏